【本単元で身に付けさせたい力（〇）と取り上げる動き（◎）】

**補助資料②**

２・３校時　**体を移動する運動遊び（リズム）＆用具を操作する運動遊び（ボール操作）**

○　様々な行い方で体を移動させる力

◎　速さ・リズム・方向などを変えて、歩く、走る、はねるなどの動き

○　用具を投げたり捕ったりする力

◎　紅白玉を片手のオーバーハンドで投げたり、両手で捕ったりする動き

**＜リズムエリアの運動遊び＞**

A（２校時）　☆動きを確認する時間　★基本的な動きを繰り返し、動きの質を高めていく。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 順序 | 運動遊び | 形態 | 予想されるつまずき▲とその配慮の仕方◇ |
| １ | 動物歩き | 個 | ▲這う・歩く・走る動きが苦手（１～４、６）  →◇友達の行い方を真似するように促す。友達の後ろについていくようにする。友達と掛け声を合わせながら行うようにする。  ▲体を支えられない。（１）  →◇手のひらをしっかり床につけたり、肘を伸ばしたり、目線を床と平行にしたりするよう助言する。  ▲キャッチが出来にくい。（４）  →◇キャッチの構えと投げたものへの目を離さないよう助言する。 |
| ２ | Go!（直進・ジグザグ） |
| ３ | Go! （直進・ジグザグ） | ペア |
| ４ | ロープ渡り |
| ５ | キャッチボール |
| ６ | ロープ・ウェイ＆スロ  ー  ＊長縄で真っすぐな道を作り、その真横をスキップで進む。 | グループ |

＊類似の動きを徐々に難易度を上げて展開する。

＊４・５人のグループを基本として、ペアでは片方のペアが「みる」立場に立つようにして、運動への関わりの在り方に広がりを持たせる。

B（３校時）　☆動きを選び工夫する時間　★多様な動きを経験し、動きのレパートリーを増やす。

（もとにする運動遊び・・・「ロープ・ウェイ＆スロー」：１チーム４・５人/長縄を直線/スキップ）

なかまタイムの展開　→　①相談Ａ（用具：長縄の道）②相談Ｂ（動き：進み方）③紹介④共有⑤競争

＊⑤競争について　　👉　スタートラインからスローラインまでくじに記された道を長縄でつくって進み、スローラインから壁のフラフープに向かって紅白玉を投げて、スタートラインまで行きと同じように移動する。3往復する。スローラインは（近い・中間・遠い）の３種類とする。紹介の際、おもしろい移動の仕方は採用する。くじには道と移動の仕方を記述する。3往復の中で道をつくる役を交代で行い、支える立場も味わえるようにする。

〔なかまタイムの運動の行い方の工夫例〕

○長縄の道（用具）・・・ジグザグ、角かく、ロール　etc

○進み方（動き）・・・歩く、けんけん、ケンパ―、かにさんetc

【本単元で身に付けさせたい力（〇）と取り上げる動き（◎）】

**補助資料②**

４・５校時 　**体のバランスをとる運動遊び（ひねり）＆用具を操作する運動遊び（ボール操作）**

○　両手で足先を持ち、転がって起きる力

　◎　寝転ぶ・起きるで構成される動き

○　大きさや形の異なる用具をつかんで、持ち上げたり、回したり、降ろしたりする力

　◎　用具をつかんだり持ったり、回したり、降ろしたりする動き

○　用具を投げたり捕ったりする力

　◎　紙皿を片手のサイドスローで投げたり、両手で捕ったりする動き

**＜ひねりエリアの運動遊び＞**

A（４校時）☆動きを確認する時間　★基本的な動きを繰り返し、動きの質を高めていく。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 順序 | 運動遊び | 形態 | 予想されるつまずき▲とその配慮の仕方◇ |
| １ | レジボール操作 | 個 | ▲ボールを回す操作が苦手（１）  →◇小さく・つかめるレジボールで行う。  ▲座った姿勢のまま転がって起きれない。（２・３）  →◇補助を受けながら体の重心がゆっくりと移動する感覚を味わうことができるようにする。  ▲体をひねる動きがきちんとできない。（４・６）  →◇両足は地面にきちんとつけさせ、へその向きが変わるようにすることを助言する。  ▲キャッチが出来にくい。（５）  →◇キャッチの構えと投げたものから目を離さないように助言する。 |
| ２ | 寝ころび起き |
| ３ | 寝ころびじゃんけん | ペア |
| ４ | レジボール渡し |
| ５ | 紙皿キャッチ |
| ６ | もの送り＆スロー  ＊グループが縦に並んで、体を左にひねりながらドッジボールを運ぶ。 | グループ |

＊類似の動きを徐々に難易度を上げて展開する。

＊４・５人のグループを基本として、ペアでは片方のペアが「みる」立場に立つようにして、運動への関わりの在り方に広がりを持たせる。

B（５校時）☆動きを選び工夫する時間　★多様な動きを経験し、動きのレパートリーを増やす。

（もとにする運動遊び・・・「もの送り＆スロー」：１チーム４・５人/ドッジボール/縦並び左ひねり）

なかまタイムの展開　→　①相談Ａ（用具：送る物）②相談Ｂ（動き：送り方）③紹介④共有⑤競争

＊⑤競争について　　👉　スタートラインからスローラインまでくじに記された送り方で３つの用具を1回に１つ運び、スローラインから壁のターゲットに向かって紙皿をサイドスローで投げて、スタートラインまで行きと同じように用具を送る（3往復）。スローラインは（近い・中間・遠い）の３種類とする。紹介の際、おもしろい送り方は採用する。くじには送り方を記述する。

〔なかまタイムの運動の行い方の工夫例〕

○送るもの（用具）・・・フラフープ、リングバトン、体操棒、バトンetc

○送り方（動き）・・・頭の上を、またの下を、左右交互に、斜め上下にetc

【本単元で身に付けさせたい力（〇）と取り上げる動き（◎）】

**補助資料②**

６・７校時 　**力試しの運動遊び＆用具を操作する運動遊び（ボール操作）**

〇　力を出しきったり、力を入れたり緩めたりする力試しの動きを身に付けさせる。

　◎　人を押したり、引いたりして運ぶ動きや手や足を支点として、自分の体を支える動き

○　両手によるアンダーハンドとオーバーハンドで投げる動きを身に付けさせる。

　◎　両手によるアンダーハンドとオーバーハンドで投げる動き

**＜ふんばりエリアの運動遊び＞**

A（６校時）☆動きを確認する時間　★基本的な動きを繰り返し、動きの質を高めていく。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 順序 | 運動遊び | 形態 | 予想されるつまずき▲とその配慮の仕方◇ |
| １ | イントゥーザボール | 個 | ▲ボールが落ちてくることへの恐怖心（１～３）  →◇柔らかいレジボールで行う。  ▲キャッチが出来にくい。（１～３）  →◇キャッチの構えと投げたものから目を離さないよう助言する。  ▲体を支えられない。（４）  →◇手のひらをしっかり床につけたり、肘を伸ばしたり、目線を床と平行にしたりするよう助言する。  ▲友達を運ぶことができない。  →◇運ぶ距離を短くしたり、違う方法を提示したりする。 |
| ２ | 投げ上げキャッチ |
| ３ | レジボールキャッチ | ペア |
| ４ | 手押し車 |
| ５ | 友達運び |
| ６ | キャリー＆スロー  ＊毛布に乗った一人を四人で運ぶ。全員が順番に毛布に乗り運ばれるようにする。 | グループ |

＊類似の動きを徐々に難易度を上げて展開する。

＊４・５人のグループを基本として、ペアでは片方のペアが「みる」立場に立つようにして、運動への関わりの在り方に広がりを持たせる。

B（７校時）☆動きを選び工夫する時間　★多様な動きを経験し、動きのレパートリーを増やす。

（もとにする運動遊び・・・「キャリー＆スロー」：１チーム４・５人/レジボール/毛布の上の友達を引く）

なかまタイムの展開　→　①相談Ａ（用具：敷く物）②相談Ｂ（動き：乗り方）③紹介④共有⑤競争

＊⑤競争について　　👉　スタートラインからスローラインまでくじに記された敷物で友達を一人運び、スローラインから天井に向かってレジボールを投げて、スタートラインまで行きと同じように運ぶ。それを3回戦行う（3人が運ばれる）。スローラインは（近い・中間・遠い）×（低い・高い）の６種類とする。紹介の際、おもしろい運び方は採用する。くじには➀運び方を記述する。運ぶ際には、友達が落ちないように支える役も分担させる。

〔なかまタイムの運動の行い方の工夫例〕

○敷く物（用具）・・・毛布、キャリー、タイヤ、段ボールetc

○乗り方（動き）・・・座る（体操座り、胡坐、長座）、立つ、寝ころぶ（棒、縮こまる）etc